

公益財団法人富山第一銀行奨学財団

理事長 横田 格 殿

助成研究成果概要報告書

教育機関名 : 富山大学	助成金額 : 750 千円	
研究代表者 : 重松 潤	所属 : 学術研究部人文科学系	職位 : 講師
研究題目 : ソクラテス式質問の作用機序の解明 - 「腑に落ちる」という現象に着目して -		

研究概要

本研究では、認知療法におけるソクラテス式質問の作用機序を明らかにするために、「腑に落ちる理解」という現象に着目して、①「腑に落ちる理解」に関する臨床知見が積み重ねることと、②本邦におけるソクラテス式質問を行ったことを評価する指標が整備すること、であった。

うつに対して有効な心理療法である認知療法は、本邦においても今後さらなる普及が期待される。認知療法では、クライアントの能動的な内省を促すためにセラピストが行う「ソクラテス式質問」が重要とされる(質問例「落ちこんだ時、どのようなイメージが浮かびましたか?」)。一方、クライアントがどういった反応をしたら、ソクラテス式質問が機能しているといえるのかが不明である(Clark et al., 2018)。この点を明らかにする一つの視点として、「腑に落ちる理解」という現象に着目した。腑に落ちる理解とは、情報に対する体験を伴った確信度の高い理解を指す。ソクラテス式質問がうまく機能すると、能動的な内省を促しされて、腑に落ちる理解が起こり、結果的に治療的な変化が起こっている仮定される。この仮説は実証的に検証されていない。その理由として①「腑に落ちる理解」に関する臨床知見が積み重なっていない、②本邦において、ソクラテス式質問を行ったことを評価する指標が整備されていない、の2点が挙げられるため、本研究では、これらの課題を解決することを試みた。

成果要約

ソクラテス式質問の評価指標の作成を進めた。尺度研究のガイドラインである COSMIN に則って原版の尺度の翻訳を行った。現在は原著者との議論を進め、評価指標の内容的妥当性の確認を行ったうえで、評価指標を完成させる予定である。併せて、指標の信頼性・妥当性を検証するための調査研究の準備を進めている。また、ソクラテス式質問の効果に関わる要因と考えられる「腑に落ちる理解」と「自己効力感」について研究を進めた。具体的には、まだ知見の少ない腑に落ちる理解の効果について、腑に落ちる理解が感情制御の方略の効果に影響を及ぼすことを実験的に示した。特に、腑に落ちる理解が、認知療法の作用機序にも関わる感情制御方略である「認知的再評価」の効果に影響することが示唆された。この成果は国際誌に掲載された。また、認知療法で向上すると想定される特性的自己効力感に着目し、現代に適した特性的自己効力感の尺度の開発を行った。この成果は現在学会誌への投稿準備中である。今後は、これらの知見を総括して、ソクラテス式質問の効果との関連を検証する予定である。

これらの研究に並行して、認知療法の文献研究を進め、国内学会のシンポジウムを中心に発表を行った。これらの成果は、レビュー論文として投稿準備中である。

<p>研究成果 発表状況</p>	<p>【雑誌論文、学会発表、図書、新聞掲載、作成 Web ページ、特許権等の出願・取得状況】</p> <p>査読付き論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Shigematsu, J., & Kobayashi, R. (2022) Relationship Between Emotion Regulation Strategies and Total Conviction in Promoting Behavior Change. <i>Frontiers in Psychology</i>, 4938. https://doi.org/10.3389/fpsyg.2022.941404 <p>学会発表（ポスター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重松 潤・波光 涼風・神原 広平・村上 理子・尾形 明子（2022）. 新版特性的自己効力感尺度日本語版（NGSE-J）の作成と信頼性・妥当性の検討，日本心理学会第 86 回大会，日本大学文理学部+Web 開催，東京 <p>学会発表（シンポジウム）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重松 潤（企画・司会・話題提供） 2022 日本認知・行動療法学会第 48 回大会自主シンポジウム「実験研究の魅力と意義」. 他企画者 甲田宗良 他話題提供 富田 望・佐藤秀樹・甲田宗良 指定討論 松本 昇，シーガイアコンベンションセンター，宮崎 ● 重松 潤（企画・司会・話題提供） 2022 日本認知・行動療法学会第 48 回大会自主シンポジウム「認知的変数への介入のアップデート」. 他企画者 田中恒彦 他話題提供 長谷川晃・大島郁葉・横山仁史 指定討論 田中恒彦，シーガイアコンベンションセンター，宮崎 <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2022 年度 国立精神・神経医療研究センター主催『デモ映像で学ぶ医療コミュニケーション研修』 講師 ● 2022 年度 とやま認知行動療法研究会 講師 																	
<p>経費の 執行状況</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 1211 826 1261">区 分</th> <th data-bbox="826 1211 1129 1261">執行額（円）</th> <th data-bbox="1129 1211 1466 1261">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1261 826 1323">【物品費】</td> <td data-bbox="826 1261 1129 1323">561,120</td> <td data-bbox="1129 1261 1466 1323" rowspan="4">国際誌論文掲載，資料収集費用，消耗品 学会参加費</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1323 826 1388">【旅費】</td> <td data-bbox="826 1323 1129 1388">188,880</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1388 826 1453">【謝金】</td> <td data-bbox="826 1388 1129 1453">0</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1453 826 1518">【その他】</td> <td data-bbox="826 1453 1129 1518">0</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1518 826 1827">合計</td> <td data-bbox="826 1518 1129 1827">750,000 円</td> <td data-bbox="1129 1518 1466 1827"></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	執行額（円）	備 考	【物品費】	561,120	国際誌論文掲載，資料収集費用，消耗品 学会参加費	【旅費】	188,880	【謝金】	0	【その他】	0	合計	750,000 円			
区 分	執行額（円）	備 考																
【物品費】	561,120	国際誌論文掲載，資料収集費用，消耗品 学会参加費																
【旅費】	188,880																	
【謝金】	0																	
【その他】	0																	
合計	750,000 円																	